

エントリーシートおよび活動登録シートの作成に関するよくある質問（FAQ）

マザーレイクフォーラム運営委員会

Q.1 EXCEL 形式のエントリーシート等に記入することと、マザーレイクフォーラムの Web サイト (<http://mlf.shiga.jp/>) からメンバー登録することは、どのように違うのですか？

A.1 エントリーシート等に記入することと Web サイトからの登録は別のものになっています。Web 登録はあくまで Web 上での簡易な情報交換のためのもの（イベントの案内等が可能）、シートは団体・個人の活動等を詳細に把握して、どこで、誰が、どのような活動を進めているのかを一覧で見られるようにしたり、それをもとにびわコミ会議等の議論で活用したりしようと考えているものです。Web 登録の方は、名前や団体名などを記入するだけですぐに登録できますので、ぜひ合わせて実施してください。イベント等の書き込みをすれば登録者全員に一斉メールが送られますので、例えば登録した団体で一般公開のシンポジウム等を実施するときには広報の一手段になります。

Q.2 活動は実施していますが、必ずしも「琵琶湖の総合保全」を主たる目的とはしていません。活動登録はしない方がよいのでしょうか？

A.2 基本的には、実施している活動が少しでもマザーレイク 21 計画の内容や琵琶湖の総合保全に関わると考えられる場合には、ぜひ登録をお願いしたいと考えています。それらに関わる部分だけを切り取って登録していただいても構いませんし、活動全体を登録してその説明の中で琵琶湖との関わりなどをご記入いただいても構いません。企業の CSR 活動なども同様です。書きやすい方でご登録下さい。

Q.3 「主な活動分野」の意味が分からないのですが。

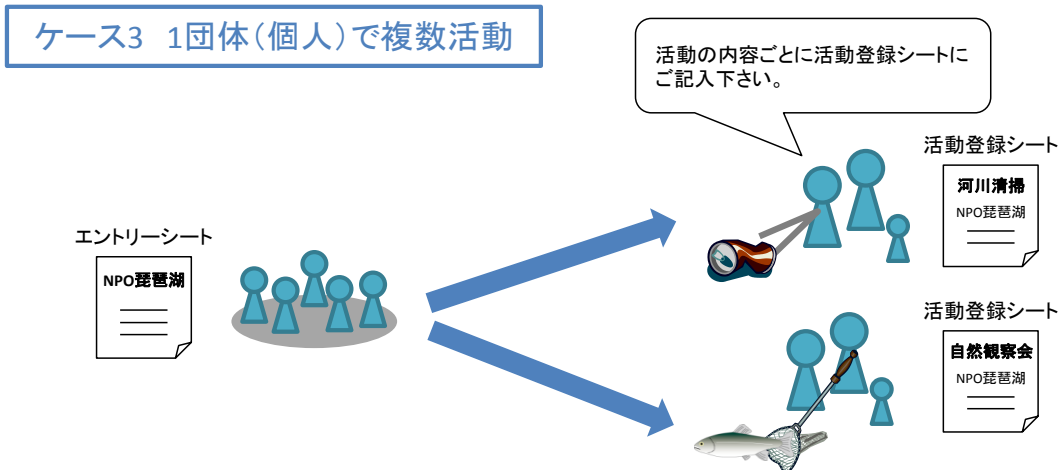
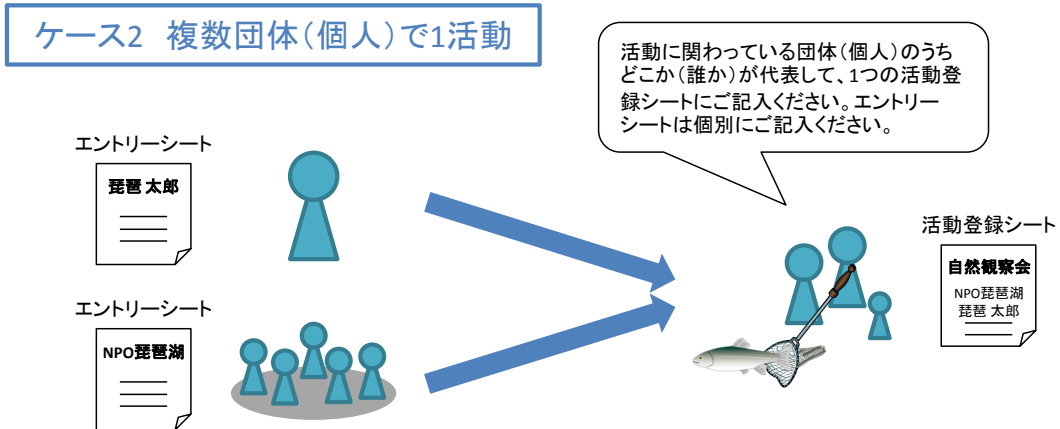
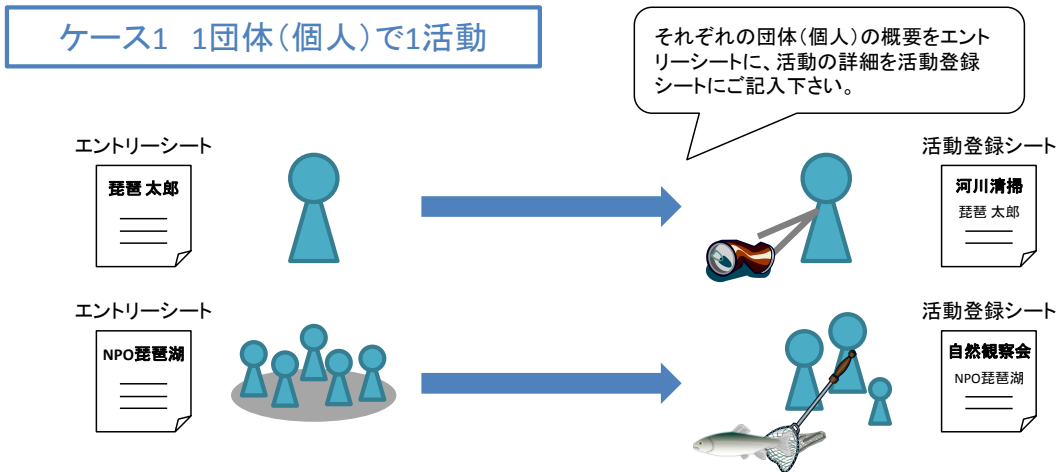
A.3 マザーレイク 21 計画（第 2 期）に記載された新たな取り組みの方向性にしがってカテゴリーを分けています。個別の内容や具体事例については別紙をご参照ください。

Q.4 個人情報はどのように扱われるのでしょうか。

A.4 団体名、代表者名（個人の場合は所属や氏名）については、地図上で可視化したりマザーレイクフォーラムの Web サイトに掲載するなどして、登録者同士の連携や情報交換に役立てていただきたいと考えています。住所、電話・FAX 番号、メールアドレスについては、「公開可否」で「可」とお答えいただいた場合は上記と同様に公表します。「否」の場合については事務局で厳重に管理し、事務局から連絡の必要がある場合など必要な場合に限りに使用します。

Q.5 エントリーシートと活動登録シートはどのように違うのですか？

A.5 エントリーシートは団体や個人の概要を記載するもの、活動登録シートはエントリーした団体が実施している活動の詳細を記載するものになっています。1つの団体で特定の活動を実施している場合には2つのシートで内容の若干重複することがあると思いますが、複数の団体で1つの活動を実施している場合にはどの団体のところに活動を記載するかが不明確になるため、シートを2つに分割しました。詳細は以下の図を参照してください。



◎琵琶湖流域生態系の保全・再生

○湖内（湖辺域を除く、湖の中）

目標：良好な水質と栄養塩バランスの回復と、多様で豊かな在来生物群集の再生

- ・湖内の在来生物の保全（在来魚の稚魚の放流、外来魚駆除など）
- ・湖内の調査・研究 など

○湖辺域（湖と陸地の境界部分で、砂浜やヨシ帯などの湖岸部はもちろん、湖の中でも湖底まで光が届く部分、また陸地でも洪水時には浸水する部分を含む）

目標：絶滅に瀕する在来種の種数と外来種の減少、在来魚介類の再生産の回復と漁獲量の増加、湖岸景観の回復

- ・農業濁水対策・レジャー利用による環境負荷の軽減
- ・水陸移行帯の保全・再生
- ・水辺景観の保全・再生（湖岸清掃など）
- ・水辺の保全的活用
- ・浜欠け対策
- ・水草の異常繁茂への対策（水草の刈り取りなど）
- ・湖辺域の湖底環境の改善
- ・外来生物の防除・駆除
- ・湖辺域の在来生物の保全
- ・水位操作による生態系への影響の軽減
- ・湖辺域の調査・研究 など

○集水域（山や川、水田、畑、市街地など、降水を集め湖に注ぐまでの範囲）

目標：適切に管理された森林や生物多様性に配慮した農地の増加と、在来生物の回復

- ・流入負荷の削減
- ・森林の保全・再生
- ・中山間部や平野部における環境の保全・再生
- ・集水域の在来生物の保全
- ・集水域の調査・研究 など

○つながりへの配慮

目標：湖内・湖辺域・集水域を行き来する在来生物の増加

- ・河川を中心とした生態回廊の再生
- ・水陸移行帯（生きものの生息・繁殖環境）の保全・再生
- ・科学的情報の共有
- ・河川を通じて琵琶湖へ供給される土砂の管理 など

◎暮らしと湖の関わりの再生

○個人・家庭

目標：身近な水環境と親しみ、自らのライフスタイルを見直していく人の増加

- ・水を大切に使い、汚さない暮らしの推進（エコキッチン・石けんの使用など）
- ・自然とふれあう時間や場をつくる取り組み
- ・地産地消や環境負荷の小さい製品の購入（グリーン購入）の推進（地域の直売所での購入、環境こだわり農産物の購入など）
- ・ごみを散乱させないなどのマナー向上の推進
- ・家庭からの排水と湖の関わりに関する調査・研究 など

○生業（なりわい）

目標：琵琶湖流域保全と調和した生業の活性化と、企業による地域の環境や文化の保全・再生活動の活発化

- ・農林水産業の活性化
- ・地域の環境や文化を保全・再生する企業活動の推進
- ・産業活動が琵琶湖流域の保全につながる仕組みづくり・持続可能な産業の育成 など

○地域

目標：地域固有の環境、文化や歴史の再評価と、それらを保全する活動や取り組みの活発化

- ・地域住民による、地域環境・地域文化の保全活動
- ・地域における保全活動の支援
- ・地域間の対話・交流の活発化
- ・先進事例に関する情報の整理と提供 など

○つながりへの配慮

目標：地域を越えた活動のための仕組みづくりと普段の生活の中での湖との関わりの定着

- ・個人・企業・地域などの主体的な取り組みや、そのネットワーク形成を支援する取り組み（水を媒介とする人と人のつながり、社会的なつながりを育む）
- ・水辺と人々の暮らしを近づける取り組み（水と人のつながりを育む）
- ・環境学習・体験・観光などの事業（つながりを生み出すため多様な学びの場をつくる）
- ・行事や催し物などに関する情報提供（つながりを生み出すための活動）
- ・次世代を支える人材の育成 など

※参考：「マザーレイク 21 計画（第 2 期改定版）」の「第 6 章 施策の構成」をもとに作成。各カテゴリーにおける「目標」は、この計画で掲げられた内容を参考に記載。これらの内容についてより深く知りたい場合は、計画書をご覧ください。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/biwako/ml21/ml21keikaku.html>